



第3回ドッジビーフェスタ in 成蹊学園

<大会報告書>

2017年12月8日



日本ドッジビー協会

【大会概要】

名 称 第3回 ドッチビーフェスタ in 成蹊学園

日 時 2017年(平成29年)11月18日(土曜日)9:00~17:00

場 所 成蹊学園 大学体育館
 〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

主 催 日本ドッチビー協会

後 援 武蔵野市教育委員会

協 力 武蔵野市スポーツ推進委員協議会

協 賛 京王電鉄株式会社
 文化シャッター株式会社
 東京キリンビバレッジサービス株式会社 / ワタミ株式会社

【お問い合わせ先】

日本ドッチビー協会事務局

住所 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

Tel : 03-3264-3626

Fax : 03-3264-3627

mail : support@dbja.jp

担当 : 稲垣 敬雄

【参加チーム一覧】			人数
低学年	①ウエストシックスJr.	荒川区立尾久第六小学校	16
	②山吹K	荒川区立峡田 各 小学校	12
	③成蹊ありんこ軍団	成蹊小学校	18
高学年	④ウエストシックス	荒川区立尾久第六小学校	16
	⑤大乱闘中 I	荒川区立汐入東小学校	15
	⑥大乱闘中 II	荒川区立汐入東小学校	17
	⑦M. D. C	武蔵野市ドッジビークラブ	15
	⑧成蹊小学校リベロス	成蹊小学校 正課クラブ	9
	⑨成蹊 雷神	成蹊小学校	15
	⑩成蹊 風神	成蹊小学校	15
	⑪成蹊 THE PEACH	成蹊小学校	15
一般	⑫M. D. C	武蔵野市ドッジビークラブ	13
	⑬Otobee	社会人サークル	11
	⑭龍神	小／中／社会人合同	11
	⑮Team Hero	小／社会人合同	11
	⑯Team Airman	小／社会人合同	11
	⑰ゴールデンイーグル	小／社会人合同	16
大会関係者内訳 /主要スタッフ 10名			●大会関係者総数 49名
/協力スタッフ 32名			
/来賓その他 7名			
			◆大会関与者総合計 285名
			◆観戦・引率保護者数 約250名
			大会関係者総合計 約535名

【最終順位】

	<低学年>	<高学年>	<一般>
優勝	ウエストシックスJr.	大乱闘中 I	M.D.C
準優勝	山吹K	M.D.C	Team Hero
3 位	成蹊ありんこ軍団	大乱闘中 II	Otobee

【大会ルール】

・日本ドッジビー協会公式ルールで実施。一部大会ルールを採用。

- 1) 試合の人数は小学生部門＝13名、一般部門＝10名
- 2) 試合時間はすべて前／後半 各＝3分30秒
- 3) 同点の場合＝予選リーグは引分、トーナメントはPT戦で決着
- 4) 決勝戦のみ終了時、同点の場合＝3分1本通しの延長戦をおこなう

【競技方法】

1) 小学年 低学年部門(1～3年)

リーグ戦 ➡ 3チームリーグ(引分けあり)を2回対戦

※募集段階では4チームに満たない場合、部門不成立の可能性あり。

としましたが、3チームによる2回戦にて順位を決定する形式で開催しました。

2) 小学年 高学年部門(4～6年)

予選リーグ戦 ➡ 4チーム×2リーグにて予選リーグ戦(引分けあり)

順位決定戦 ➡ 予選リーグの順位1～2位の4チームによる上位トーナメント戦
ならびに3～4位の各4チームによる下位トーナメント戦

3) 一般部門 (中学生以上)

予選リーグ戦 ➡ 3チーム×2リーグにて予選リーグ戦(引分けあり)

順位決定戦 ➡ 予選リーグの順位1～2位の4チームによるトーナメント戦
ならびに予選敗退2チームによるフレンドマッチ(FM)

【参加賞】

協賛社様ご提供の参加賞

※配布 ～ ③は受付時、①②④は15時以降

- | | |
|---------------------|------------------------|
| ① 京王電鉄(株) | 京王電鉄キャラクター-けい太くん ホールペン |
| ② 文化シヤッター(株) | ネックストラップ |
| ③ 東京キリンビバレッジサービス(株) | 555mlスポーツドリンク |
| ④ ワタミ(株) | 系列全店使用可能 500円お食事券 |

【付帯イベント】

13:30～14:45 の間、全コートของเกมを一旦、休止して体育館の全面を使用して実施しました。

『実施概要』

＜A＞コートにてディスクドッチの親子対戦

① 【小学生低学年部門】チームと保護者の体験ディスクドッチゲーム。

低学年部門はAM中に本大会は終了となり、昼休憩時に表彰をおこないました。

その後、低学年部門の選手と基本的に観戦来場保護者の中から希望者様による体験ディスクドッチゲームをおこないました。

② 【小学生高学年部門】予選各リーグの4チームより各3名、計12名の選抜された小学生選手の即席チームと保護者の体験ディスクドッチゲーム。

高学年部門予選2リーグの各チーム選抜選手が即席チームを作り、基本的に観戦来場保護者の中から希望者様(一部、大会スタッフ／一般部門参加者など)による体験型エキシビジョン・ディスクドッチゲームをおこないました。

＜B＞／＜C＞コートにて

公式の種目以外も含めたドッチビーを使用しておこなえる【遊び】を指導者が常駐して、基礎レクチャーを受けながら体験するコーナーを参加選手はじめ、ご来場のどなたでも、お楽しみいただけるように実施しました。

＜B＞コートにて

③ スピードドッチの体験会

次期公認種目候補としてDBJAで検討中にて現在、ルールは不明確ですが・・・

ドッチビーを思いきって投げ合う単純明快なゲームのご紹介と体験コーナーとして実施しました。

＜C＞コートにて

④ ディスゲッタードッチ88ゲームの体験会

9枚パネルの的当てゲーム(DBJA公認種目)のご紹介と体験コーナー。

3名1チームでおこなう団体対戦型のゲームで4番目となる最も新しい公式種目のルールをスタッフが説明しながら、体験していただきました。

【講 評】

3回目となる「ドッチビーフェスタ」は昨年と同じく、成蹊学園内の大学体育館を会場として成蹊大学学園祭と同日程での開催となりました。昨年は残念ながら朝から冷たく、強い雨でしたが・・・事前の予報では今年も、雨。しかし、いつ降り出してもおかしくない曇天ながらも、集合時間までは傘を差すことはなく、3部門、全17チームの選手、ならびに関係者、観戦者合計500名超が集まりました。



「ドッチビーフェスタ」の基本コンセプトは公認種目にこだわらず、ドッチビーの楽しさを体験していただくことにあり、その具体的な施策として各部門の予選が終了した時点で会場全面を使用した【付帯イベント】を充実させました。これはこの大会における重要なポイントであり、盛況であったことは嬉しく感じることでした。



付帯イベント③「スピードドッチ体験」 於/Bコート

付帯イベント④ 「ディスゲッタードッチ88」体験 於/Cコート



予定通り、9:35に開会式を開始。
今回アクティブカメラを選手およびに
審判員に装着してもらった協力をいた
だきたい旨、説明の上、DBJAの公認
4種目DVDの撮影をおこないました。



開会式終了後、参加者全員で集合写真撮影！ 順調にプログラムは進行！



今回のメインプログラムとなるディスクドッジゲームには全部門を通して成蹊小学校の有志の皆様による複数チームのご参加をいただきましたこと。また、一般部門ではドッジビーマーカーにより事前に少人数での申込みをとりまとめることで、即席ではありますがチームとして構成したうえで出場。という今までにない、試みがおこなわれたこと。これらについては本大会の開催趣旨に良く合致しており、嬉しく感じました。



ディスクドッジ予選の段階ではそれらのチームと日ごろより練習を重ねているクラブチームの対戦になるとワンサイドの展開となる試合もありましたが、ビギナーチームには良い刺激になったものと思います。両部門ともにトーナメント戦に入り決勝に近づくほど、白熱した見応え充分な好ゲームが展開されていました。



小学生低学年部門は午前中の時間帯でメインプログラムを終了して昼休憩前に先行して表彰式をおこないました。



最後に大会スポンサー各社様より参加賞や表彰副賞など物品を頂戴するとともに多大なご協賛・ご支援を頂戴しましたこと、また、運営面においてはDBJA資格取得者による審判や運営スタッフをお引受けいただいた皆様、また会場となった成蹊学園関係者様からご理解・ご協力をいただきました。

結果として想定スケジュールを早めることができるなど大変に順調な進行で大きな事故もなく無事に終了することができました。



関係各位には多大なるご協力をいただきまして主催者として心より感謝いたします。本当にありがとうございました。あらためて御礼を申し上げます。報告とさせていただきます。

